

富山市のごみの現状と 生ごみの減量化に向けて

目次

- 1 富山市のごみの現状
- 2 これまでのごみ減量化の取組み
- 3 生ごみの減量化に向けて

目次

- 1 富山市のごみの現状
- 2 これまでのごみ減量化の取組み
- 3 生ごみの減量化に向けて

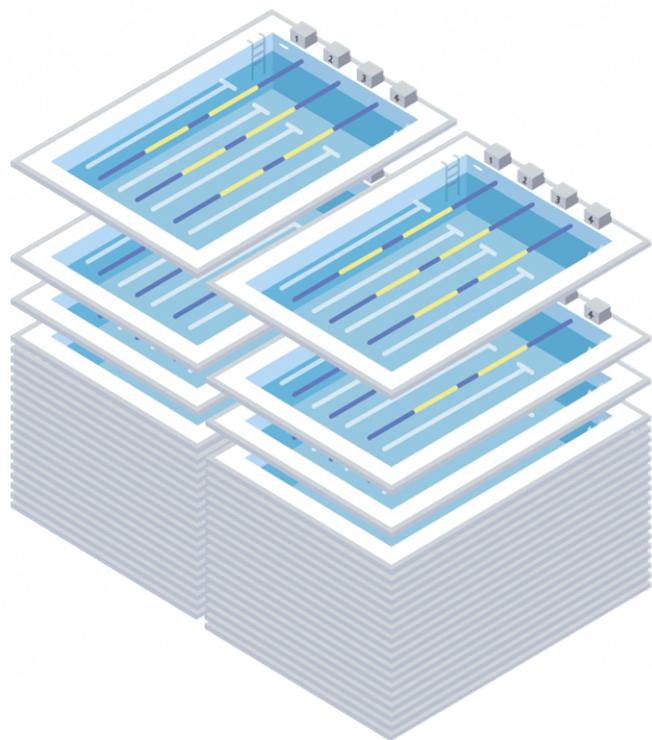
問題1

富山市で出る年間のごみ量は？

- ① 約 1万t
- ② 約 7万t
- ③ 約14万t **正解**



14万トンのごみの量



学校のプール

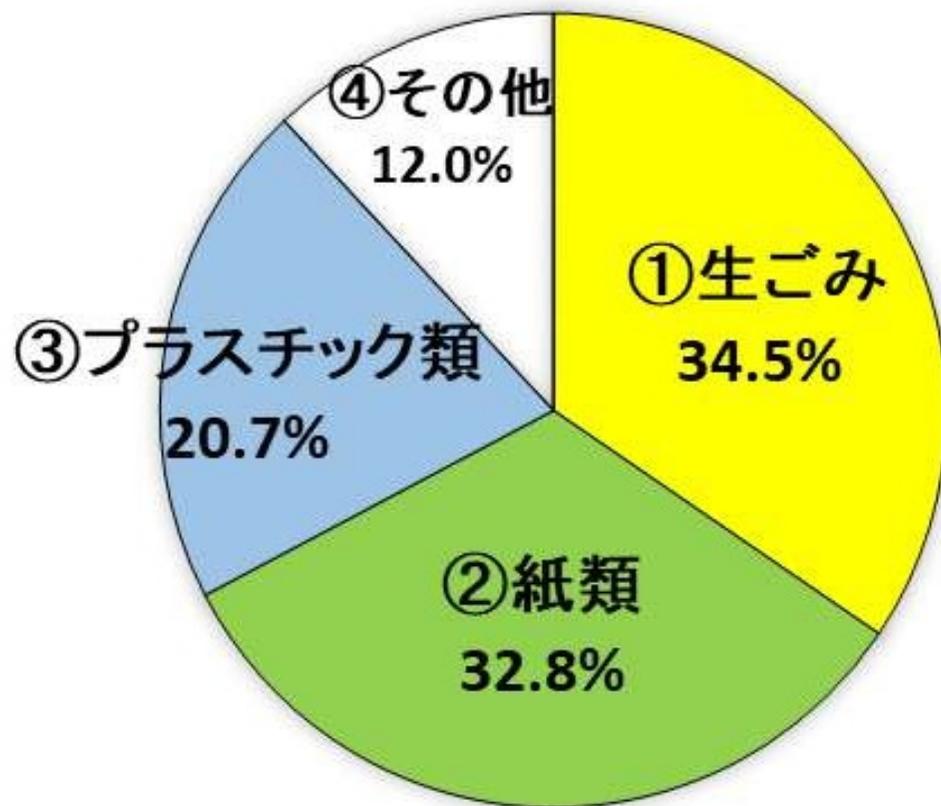
およそ **568**こ

(プール1ぱい分250tとして)

568こ!?



「燃やせるごみ」の割合



※「その他」の主なもの

繊維類、木竹類、金属類、
ゴム・皮革類、ガラス・陶磁
器類、違反ごみ など

令和3年7月調査

問題2

ごみ処理にかかる費用は？

① 1億円

② 14億円

③ 28億円 **正解**

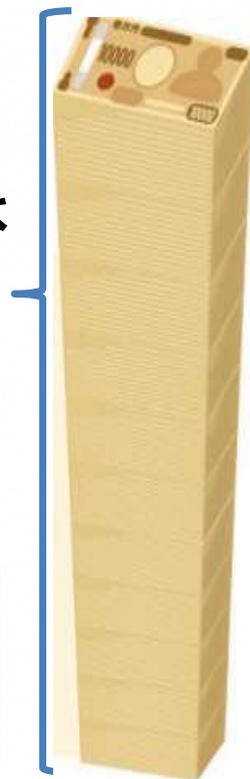


28億円

1万円札で
28億円を積んだ高さ
およそ28m



ぼくの
高さは
2mだよ！



だ 3階建ての校舎の高さ
こうしゃ
およそ12m



ごみを減らしたい

ごみ量
14万t

ごみ処理費用
28億円



目次

- 1 富山市のごみの現状
- 2 これまでのごみ減量化の取組み
- 3 生ごみの減量化に向けて

★資源物ステーション運営事業

- 1 開設場所 栗山、岩瀬、婦中、古沢、山室、八尾、大山、水橋
- 2 開設日時 土曜・日曜・祝休日の9時～15時まで
- 3 対象品目 缶、びん、ペットボトル、プラスチック資源、紙製容器包装、新聞、雑誌、段ボール、衣類、小型廃家電(パソコン、リチウムイオン電池)、水銀使用製品(蛍光灯、温度計、体温計)



(大庄資源物ステーション)



(栗山資源物ステーション)

★ 3R推進スクール（環境教育の充実）

- ・ 幼少期からごみ問題に関する関心を高め、学校だけでなく家庭内でも話し合っていたいただくことを期待し、平成21年度から、3R推進スクールを実施しています。
- ・ 市内の幼稚園や保育所、小学校に市職員が直接出向いて課外授業を行っています。



（写真）3Rの具体的な取組みや海洋ごみについて考えたり、ごみ収集車の見学などを実施

●廃棄物対策課が実施している出前講座について

講座① 「富山市のごみ減量化について」

講座② 「ごみの分け方・出し方」

講座③ 「家庭ごみの有料化制度について」



(写真)これまでに開催した出前講座の様子

これまでのごみ減量化の取組み

取組	開始時期	内容
資源集団回収事業	S54	行政回収にかわり、地域が主体となり資源物の分別回収を実施する
ペットボトル分別回収	H9	分別回収を実施
空き缶分別回収	H9	地域の集積場で分別回収を実施
空きびん分別回収	H10	地域の集積場で分別回収を実施
資源物ステーション運営事業★	H13	資源物の排出を促進するため、 市内8カ所 (R6.4月現在)に、資源物ステーションを開設し、資源物11品目を回収。 小型廃家電(H22～)、パソコン(H25～)、水銀使用製品(R1～)
プラスチック製容器包装分別回収	H17	地域の集積場で分別回収を実施
紙製容器包装・古紙分別回収	H17	地域の集積場で分別回収を実施
側溝汚泥リサイクル事業	H18	地域の側溝清掃作業で発生した汚泥を回収し、リサイクルする (H30.3事業廃止)

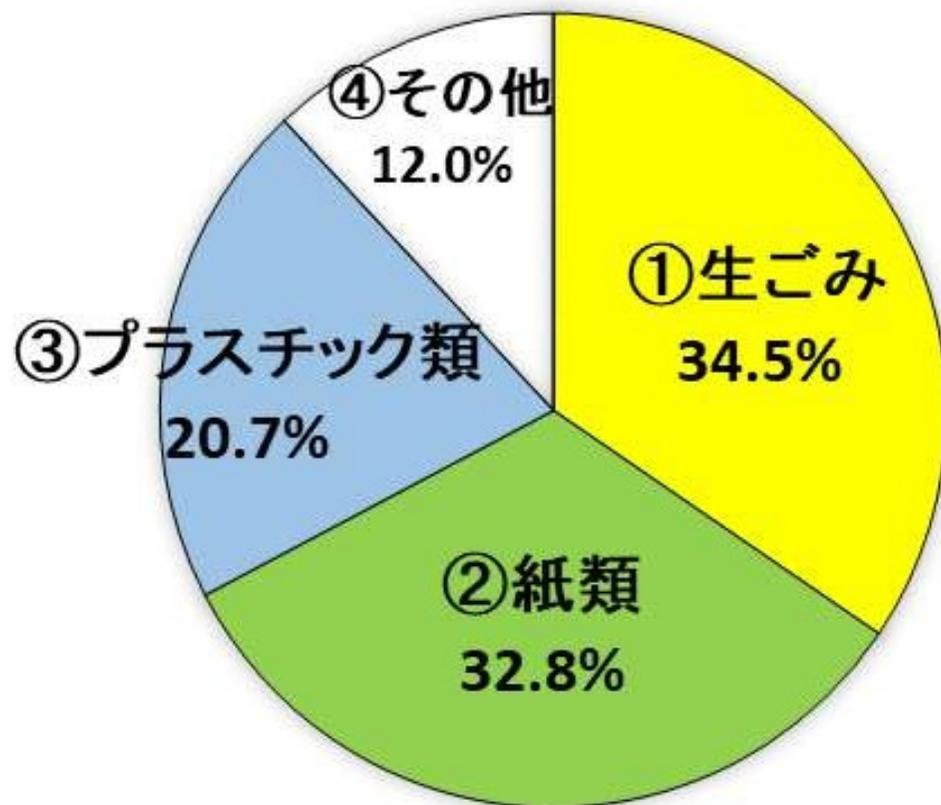
取 組	開始時期	内 容
生ごみリサイクル事業	H18	市内13校下で回収した生ごみを、民間施設でバイオガスや電気エネルギーにリサイクルする(R4.3月事業廃止)
レジ袋削減チャレンジキャンペーン	H19	デパートや食品スーパー等事業者との協働により、マイバッグを持参してレジ袋の使用を削減する発生抑制キャンペーンを1か月間実施
可燃ごみ固形燃料化事業	H20	資源集団回収した衣類を、市内の民間リサイクル施設で固形燃料化する
3R推進スクール事業★	H21	保育・幼稚園児、小学4年生を対象に、3R推進スクール実施する
おいしいとやま食べきり運動	H21	富山市消費生活センターが主体となり「残さず食べきる」食べきり運動を展開
廃食用油(BDF)の回収	H22	地区センター及び各行政サービスセンターに設置してある専用回収容器で分別回収を実施
プラスチック資源一括回収	R6	これまで資源物として分別回収していたプラスチック製容器包装に加えて、新たにプラスチック製品もまとめて回収し、リサイクルする。
紙製容器包装の廃止	R7	紙製容器包装として回収していたものを雑誌・雑紙にまとめて出せるように変更

目次

- 1 富山市のごみの現状
- 2 これまでのごみ減量化の取組み
- 3 生ごみの減量化に向けて

「燃やせるごみ」の割合

生ごみは、燃やせるごみの
3割以上を占める



生ごみを捨てる時は、
しっかり水きりをする

生ごみの約80%が水分です。
水分を減らすことで
燃やせるごみ全体量⇒減、
焼却施設への負担⇒減

令和3年7月調査

生ごみの減量化に向けて

- ◎ 生ごみを出さないようにする
(必要な分だけ購入する。余分に残った場合は、
冷凍保存や調理方法を変えて後日、使い切る)

それでも残ってしまう場合は、

- ◎ 生ごみの水分を減らす
(ごみとして出す前に、しっかり水切りをする)
- ◎ 生ごみ処理機を導入する
(電気を使って乾燥するもの、微生物の力を使って分解するもの)